

【イベント案内】

県立丹沢湖ビジターセンター

●ガイドウォーク〈申し込み不要・参加費無料〉
 内容：旬の自然を観察しながら丹沢湖周辺を散策！ボランティアスタッフ「グループ・むしくさ」がご案内します。
 開催日：毎月第2日曜日 10:00～12:00
 集合：開始時間までにビジターセンター玄関前集合
 ※10名以上の場合はお問い合わせください。
 イベント等の都合により、中止または日程変更する場合があります。

●出張トーク〈申し込み不要・参加費無料〉

内容：センター職員が丹沢湖周辺のおすすめ自然スポットに出現！センターを離れて、数分～1時間のトークやガイドを行います。
 開催日：毎月第4土曜日 10:30～14:30のうち1時間
 ※開催場所や時間、内容は月によって変わります。職員を見かけたら是非ご参加下さい。イベント等の都合により、中止または日程変更する場合があります。

県立宮ヶ瀬ビジターセンター

●「宮ヶ瀬の動物調査隊」〈申し込み不要・参加費無料〉
 内容：宮ヶ瀬にすむ野生動物を調査用カメラで調べてみましょう。調査地での自然観察と写真に映った動物の確認作業を体験できます。
 開催日：第3日曜日 13:30～15:00 当日受付

●「ラボ」〈申し込み不要・参加費無料〉

内容：生きもの調べや展示作りなどのスタッフの仕事を見てみよう。ちょっと体験にもチャレンジ！
 開催日：第2日曜日、第4土曜日 随時
 ※イベント等の都合により、中止または日程変更する場合があります。



環境省 箱根ビジターセンター

●観察会「初夏の箱根の滝を巡る」
 内容：箱根に詳しい案内人と一緒にコアジサイの香りを楽しみながら歩きます。箱根最大の滝を巡り自然とふれあいをしましょう。
 日時：6月8日(土) 9:30～16:00(予定)
 集合：小涌谷駅
 解散：畑宿
 定員：50名 健脚向き
 料金：大人、子ども100円(保険代)
 帰りのバス運賃(畑宿～箱根湯本：大人380円)は各自負担
 締切り：5月31日(金)

●観察会「新緑の水門と歴史を訪ねて」

一深良水門と外輪山から見る芦ノ湖
 内容：箱根に詳しい案内人と一緒に箱根用水の歴史を学びながら歩きます。箱根外輪山を巡り神山・駒ヶ岳・芦ノ湖・富士山等の内外風景を楽しもう。
 日時：5月18日(土)10:00～15:00(予定)
 定員：50名 健脚向き
 締切り：5月6日(月)
 集合・解散：箱根ビジターセンター玄関前
 費用：大人・子ども100円(保険代)
 バス運賃(箱根湯本駅～白百合台：大人970円片道)は各自負担。

応募方法：行事名、参加希望者全員の住所・氏名・年齢・性別・電話番号を記載し、往復はがきまたはメールで箱根ビジターセンターまで。

県立秦野ビジターセンター

●企画展「丹沢のブナ林」
 内容：丹沢のブナ林をのぞいてみませんか？どんな動物物がくらし、どんな風景が広がる森なのでしょう？展示をご紹介します。
 開催期間：5月11日(土)～9月3日(火)
 料金：入館無料
 開館中はいつでも自由にご覧いただけます。

2013

5・6月号
No.104

～自然公園から季節のたよりをお届けします～

神奈川県自然公園だより

丹沢大山国定公園 県立丹沢大山自然公園 県立陣馬相模湖自然公園 富士箱根伊豆国立公園



ミツバツツジ



トウゴクミツバツツジ



ヤマツツジ



ゴヨウツツジ

自然公園へ出かけよう



県立宮ヶ瀬ビジターセンター 県立丹沢湖ビジターセンター

〒243-0111 清川村宮ヶ瀬940-15
 Tel046-288-1373 Fax046-288-1162
 開館時間 9:00～16:30
 (1/4～2/28は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/miyagase/>

〒258-0202 足柄上郡山北町玄倉515
 Tel0465-78-3888 Fax0465-78-3777
 開館時間 9:00～16:30
 (1/4～2/28は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawakovc/>

県立秦野ビジターセンター 県立西丹沢自然教室

〒259-1304 秦野市堀山下1513
 Tel0463-87-9300 Fax0463-87-9311
 開館時間 9:00～16:30(通年)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/hadanovc/>

〒258-0201 足柄上郡山北町中川867-2-9
 Tel0465-78-3940 Fax0465-78-3940
 開館時間 8:30～16:30
 (12/1～3/31は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/nishitanzawa/>

県立陣馬自然公園センター 環境省箱根ビジターセンター

〒229-0201 相模原市緑区佐野川659-3
 Tel0426-87-5270 Fax0426-87-5270
 開館時間 9:00～16:30
 (12/1～3/31は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/jinba-vc/>

〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根日札場164
 Tel0460-84-9981
 開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)
<http://www.mmjp.or.jp/HakoneVisitorCenter/>

休館日のお知らせ
 県立ビジターセンター：月曜日(祝日開館)、祝日翌日(土日開館)
 1～3月第2木曜日(祝日開館)
 年末年始(12/29～1/3)
 箱根ビジターセンター：6月第2水曜日とその翌日、
 年末年始(12/28～1/1)

西丹沢ツツジコレクション

西丹沢自然教室

西丹沢自然教室周辺の山々で見られる個性豊かな5種類のツツジを紹介します。

春最初に咲くツツジはミツバツツジです。山の低所から中腹で、昨年は4月中旬～5月上旬に咲きましたが今年は3月下旬から咲き始めました。

二番目に咲くのはヤマツツジです。山の低所から中腹で昨年は5月中旬～6月上旬に咲きました。

三番目に咲くのが一番人気のあるゴヨウツツジ(別名シロヤシオ)です。山の中腹から高所で昨年は5月中旬～6月上旬に咲きました。

四番目にゴヨウツツジとほぼ同時にほぼ同じ場所で咲くのがトウゴクミツバツツジです。ゴヨウツツジとトウゴ

クミツバツツジが同時に咲く景色は何とも言えません。

最後に咲くのがバイカツツジです。山の低所で昨年は7月上旬～7月下旬に咲きました。

どの花も標高の低いところから咲き始め、標高の高いところの木が最後に咲きます。

今年の3月は昨年に比べると雪が少なく暖かくてミツ

マタなど早春に咲く花々が昨年より早く開花しました。ミツバツツジ以外のツツジも昨年より早く開花するかもしれません。(赤塚)



バイカツツジ

編集・発行：公益財団法人 神奈川県公園協会 〒231-0027 横浜市中区扇町3-8-8 関内ファーストビル6階

TEL:045-651-0931 FAX:045-651-0932

公園課(自然公園担当):sizenkouen@kanagawa-park.or.jp ホームページ <http://www.kanagawa-park.or.jp/>

後援：丹沢大山自然再生委員会

神奈川県公園協会

検索

オス鳥たちの夏

箱根にも夏を告げる生き物がやってきます。夏の間、日本で繁殖を行う夏鳥達です。夏鳥は春に日本より南の地域から渡って来て繁殖をし、秋には南の地域に渡って冬を越す鳥達を言います。瑠璃色が美しいオオルリ、黄色が光るキビタキ、「焼酎一杯グイー」とさえずっているように聞こえるセンダイムシクイなど、様々な夏鳥達が箱根にやってきます。

オスは繁殖相手を探するため、木のてっぺんや枝の先、草原に転がる大きな岩の上など目立つ場所で盛んにさえずります。自分をアピール



センダイムシクイ



オオルリ



キビタキ

してメスに見つけてもらうためです。しかしこれは両刃の剣。目立つ場所ですと、敵に見つかる確率も上がってしまいます。オスも命をかけて繁殖相手を探しています。盛んにさえずっている鳥の声を聞いた時には、「彼らも必死で頑張っているんだ」と思い出してあげてください。(佐藤)

箱根ビジターセンター

ヤマビルなんて怖くない！

東丹沢では、暖かい時期になるとヤマビルが出てきます。雨のあとの晴れた日は、特に要注意。ヤマビルを避けるために、寒くなる11月ごろから山に登る人も多くいます。

一方で、ビジターセンター職員は、ヤマビルがいても山へ登ります。小学生数十人を案内してビジターセンター隣の春の木丸へ行くこともあります。怖くはないですよ。ヤマビルのことを知って対処をすれば、そんなに神経質にならなくても大丈夫です。ズボンのすそを靴下で覆ったり、長靴にヤマビル忌避剤を塗ったり、湿った場所を避けて歩い

たり、工夫をすれば大丈夫です。もし血を吸われても、気がつかないうちにポロっと落ちていきます。しばらく血は止まりませんが、スズメバチのような毒は無く、危険ではありません。

ヤマビルのいる時期は、登山道がすいていて自然観察に適していますし、ヤマビルを減らすための落ち葉かき活動にビジターセンターでも協力をしています。ヤマビルのことを知れば怖くなくなります。好奇心旺盛な子どものようにしっかり観察してみると面白いですよ。(倉持)

宮ヶ瀬ビジターセンター



ヤマビルは地面にいます



血を吸うとふくれて落ちます



足元の工夫と忌避剤



落ち葉かきの活動

新緑の美しい季節

ゴールデンウィークのセンター窓からは、五月のさわやかな風に吹かれて泳ぐ「こいのぼりの谷渡し」がまるで絵葉書のように見えます。一週間のイベントですが、陣馬山の麓の集落を引き立てる風景です。新緑の季節と相まって、登山者の間でも楽しみになっている行事です。

この行事が過ぎると、山々にはヤブデマリ、ミズキ、ウツギ類の白い花々が目立ち、みずみずしい山々に新緑がはえ、鮮やかな光景です。ウツギは別名「ウノハナ」として親しまれています。

やがて来る梅雨時でも数多くの草花が登山者を迎え、目を楽ませてください。雨の後の登山道は滑りやすくなっているので安全な装備で登山を楽しみましょう。(森久保)



こいのぼりの谷渡し



ヤブデマリ



コアジサイ



マルバウツギ

陣馬自然公園センター

ある植物の季節

植物はそれぞれとても個性豊かな形をしています。ブナ林の新緑が美しくなる頃、地面から顔を出すヤマウツボ、薄暗いところで白く光るように咲いているギンリョウソウ、赤いバナナのような実をつけるツチアケビ、花は咲いているの?と聞きたくなるようなキバナノショウキラン…。色鮮やかな花も素敵ですが、このようなちょっと変わった植物を見つけるとなんだか気になりませんか。



ブナ科などの樹木に寄生するヤマウツボ(寄生植物)



別名ユウレイソウと呼ばれるギンリョウソウ(腐生植物)

これらの植物には共通点があります。それは他の植物から栄養をもらったり(寄生植物)菌類から栄養をもらったり(腐生植物)して成長するところ。6月は菌類から栄養をもらって成長する腐生植物が良く見られる季節です。地面をよく見ながら歩いていると、あれっ?と思う不思議な形の植物たちに出会えるかも知れません。(村上)



きのこのナラタケと共生するツチアケビ・実(腐生植物)



キバナノショウキラン(腐生植物)

西丹沢に咲くバラ

多くの花が開花する季節、中でも大きめの花で目を引くバラの仲間3種をご紹介します。

ノイバラの花の付き方は円すい状で、開花時は小さな花束のようにも見えます。雌しべに毛がなく、葉の裏に毛があることなどが特徴で、5月上旬頃に花を咲かせます。

同じ頃にアズマイバラの花も丹沢湖周辺を彩ります。よく似ていて迷うかもしれませんが、ノイバラより花の付き方はまばらで、葉の表面に少し光沢があり、裏面は白みがかかった緑色で両面とも毛がありません。

西丹沢の不老山～三国山周辺では5月下旬～6月上旬にサンショウバラの花が咲きます。直径5～6cmの大きさの花は淡いピンク色で気品さを感じさせます。

サンショウバラは日本固有種で、全国的にも神奈川県、静岡県、山梨県の一部の地域にのみ自生し、毎年花の時期にはサンショウバラをめあて

に多くの登山者が訪れます。

サンショウバラの花期は短いですが、野生の花のはかなさや風情を楽しむのもいいものです。

今年の春は西丹沢に咲く野生のバラをじっくり観察してみませんか?(櫛谷)



アズマイバラ:別名オオフジバラ、ヤマテリハノイバラ



ノイバラ:野原に咲くバラでノイバラの名があり、日当たりのよい場所に生える



サンショウバラ:名前は葉がサンショウに似ていることから

ミニコラム 植物観察のツボ

色々な花が咲くこれからの季節は、植物観察が箱根・丹沢歩きの楽しみのひとつです。本号ではそんな植物観察を楽しむためのツボを紹介します。

◆目と気持ちの準備から

「今日どんな花がみれるだろう。」まずは、そんなワクワクした心を用意しましょう。足元の茂みや見上げる斜面、岩の隙間など、黙々と歩くだけでは見過ごしてしまいそうな場所にも目がいくようになります。

◆困ったらビジターセンターへ

いくら図鑑を調べても判別できない植物も多いのではないのでしょうか。ビジターセンターには、専門のスタッフがおりますので、分からないことがあれば相談してみましよう。

◆道具あれこれ

ーカメラー

写真に残しておく、あとで図鑑で調べるときに便利です。お花、葉っぱ、植物全体を前や横から様々な撮っておきましょう。どんな場所に咲いていたか、周りの様子もお忘れなく。カメラに詳しい方は接写ができるモードやレンズに設定しておきましょう。ールーペー

見慣れた植物でも拡大してみると思わぬ発見があるものです。倍率10倍ほどのルーペを首から下げると便利です。文具店などで売っているルーペは2倍程度のものが多いですが、まずはそれでも充分。

マナーを守って観察しましょう

観察を楽しむ時は、他の植物を踏み荒らしてしまわないよう、登山道から外れないように注意しましょう。夢中でシャッターを切っているときも生き物への配慮をお忘れなく。また、抜き取ることもできません。箱根・丹沢では保護区として指定され、動植物の採集が禁止されている区域がありますし、自然の生き物は自然の中でこそ元気に育ちます。貴重な植物を見つけても、盗掘防止のためホームページなどで紹介することはやめましょう。